

茨城大学と国際連合大学 サステナビリティと平和研究所 による現地視察

平成23年12月27日
鹿島港湾・空港整備事務所

安原 一哉 茨城大学名誉教授を始めとした茨城大学と国際連合大学 サステナビリティと平和研究所の総勢29名が、11月16日から17日にかけて東日本大震災による茨城県内の被害現地視察の一環として11月17日に鹿島港における地震・津波の被災状況把握のため、当所を訪問しました。

当日は神谷所長が鹿島港の被災に関する状況を説明した後、参加者との活発な質疑応答が行われました。その後参加者は港公園の展望塔から鹿島港全体を概観しつつ、神谷所長から被災箇所等の説明を受け、南公共埠頭にて当局が実施する復旧工事で被災した施設を視察しました。参加者は震災により施設に残された損傷の状況を、熱心に調査していました。



茨城大学・国際連合大学の参加者



神谷所長による鹿島港の被災状況等の説明



鹿島港の概況把握
(港公園 展望塔)



被災箇所の現地視察
(鹿島港 南公共埠頭地区)